

トノサマガセル *Megalophaedusa ducalis* (Kobelt)

【選定理由】

1979年に豊根村が動物調査を実施した際、茶臼山中腹の礫土の中から6個体が観察され、その後1991年に稲武町誌作成のための調査で面ノ木峠にて再発見された(木村・中根, 1996)。豊根村茶臼山が分布の東限であり、面ノ木峠はその南限である。その後、茶臼山でも面ノ木峠でも再発見されていない。

【形態】

殻高29~30 mm、殻径7~7.5 mmの中型のキセルガイである。殻の色はわら色である。殻口はやや広大で洋梨形、乳白の滑層で覆われる。月状襞はないが、上腔襞は短くつづいて数個が点線状で、下腔襞は短い。



稲武町面ノ木峠, 1991年10月22日, 木村昭一採集

【分布の概要】

県内では茶臼山と面ノ木峠が知られているのみである。県外では、石川県(白山)、岐阜県、福井県に分布する。

【生息地の環境／生態的特性】

礫土に落葉が被った環境で生息する。

【現在の生息状況／減少の要因】

県内ではその後再発見されていない。

【保全上の留意点】

生息確認地を中心とした樹林の保全に留意する。また、採集の防止に努める。

【特記事項】

県内は本種の分布南限に当たる。

【関連文献】

- 柴田吉夫, 1995. 北設山岳県立公園一帯の自然科学. 北設山岳県立公園及びその付近の陸産貝類, p.75. 愛知県商工部通商観光課・北設山岳県立公園地区協議会・鳳来寺山県立公園地区協議会.
豊根の動物調査委員会, 1980. 貝類. 愛知県豊根村の動物, p.116. 豊根村.
野々部良一・高桑 弘・原田一夫, 1984. 陸産貝類. 愛知の動物, p.28. 愛知県郷土資料刊行会.
木村昭一・中根吉夫, 1996. 稲武町の軟体動物. 稲武町史 -自然- 資料篇, pp.119-126. 稲武町.
東 正雄, 1982. 原色日本陸産貝類図鑑, p.68. 保育社.

(2009年版(原田)を一部修正)